



TKK 共通シラバス

1. 科目名	福祉ボランティア活動Ⅱ				
2. 教員名	岡 正彦		3. 担当大学	東北福祉大学	
4. 対象学年	2 年生	5. 開講時期	通年	6. 単位数	2 単位

7. 授業の目的・到達目標（神）、授業のねらい及び具体的な達成目標（工）、授業の概要（内容）・到達目標（東）

大学時代の自由意志に基づく「ボランティア活動」には、①講義で学ぶ理論と実践的経験から得られる知識の統合を図ることができる、②社会的な活動を通して社会に貢献することができる、③様々な活動を通じて自己、他者、社会を知ることができる、④多様な他者とのコミュニケーションにより共感性・協調性を育むことができる、⑤創造力や企画力・実践力を高めることができる、⑥自己実現を促し豊かな感性を育むことができる、などの意義があるといえます。

これらを踏まえ、より充実した活動となるよう支援することを目的に、本学では我が国の大学として初めてとなる自主的なボランティア活動のカリキュラム化を平成5年度より実施し、体験を通して学ぶ皆さんをバックアップしています。

8. 授業のキーワード（神）

9. 授業の進め方（神）、授業の方法（東）

本学の建学の精神「行学一如」に基づく、理論（講義）と実践（ボランティア）を行います。主には「授業の概要」に記載の要件①～⑤を満たし、レポートの提出によって「認」または「否」の評価を行います。

10. テキスト、参考書、指定図書（神）、教科書・参考書等（東）

「履修に関する説明会」時に紹介いたします。

11. 授業時間外に必要な学修（神）事前、事後に受講してほしい講義等（東）

【事前に受講してほしい講義等】

現代社会とボランティア

【事後に受講してほしい講義等】

ボランティア活動論、福祉ボランティア活動Ⅲ・Ⅳ

12. 提出課題など（神）

13. 成績評価方法・基準（神）、成績評価方法及び水準（工）、評価の方法・基準（東）

「ボランティア活動回数（2回以上）・時間（30時間以上）」、「講座の出席数（4回以上）」、「活動記録ノート」、「レポート」の記述内容をもとに総合的に評価します。点数による成績はつけず、「認」または「否」の評価によって行われます。

また、感染症や社会情勢の影響で上記ガイドラインが達成できない場合もございます。その際の救済措置などはございませんのでお気をつけください。

14. 履修するにあたって（神）、学生へのメッセージ（工）、授業時間外学習（予習・復習）・履修上の注意事項（東）
単位取得を希望する学生は、履修登録をしてください。 尚、この科目は開講大学以外の学生が履修する際、対象講義などはオンデマンド授業となります。受講の方法などは各大学のガイダンスの中で説明いたしますので、必ず詳細を確認し、履修登録を行ってください。
15. 参考（オフィスアワー（工）等）

【授業計画（神）（東）、授業計画及び準備学習（工）】

講義番号	主題	内容
第1回		
第2回		
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

【コンピテンシー】※コンピテンシーについての詳しい説明は[こちら](#)。

（下記に、身につけることが期待されるコンピテンシーを5段階評価でご記入ください。
期待度が高いほうが5、低いほうが1です。）

コンピテンシー	ポイント
マインド的コンピテンシー	4

成果を挙げるためのコアコンピテンシー	3
受容的コンピテンシー	4
応用的コンピテンシー	3
対人・集团的コンピテンシー	4

コメント